

作品を  
間近に!

古香庵サロン Active+

# 葛重時代の江戸文化

講師 岡野智子(当館上席研究員)



酒井抱一  
《松風村雨図》部分  
天明5年(1785)  
細見美術館蔵



抱一27歳  
狂歌ネームは「尻焼猿人」  
宿屋飯盛/撰 山東京伝(北尾政演)/画  
『百人一首古今狂歌袋』部分  
天明7年(1787) 大英博物館蔵

実は、私が  
描きました

葛重の狂歌本の常連!

第一弾

## 抱一の浮世絵と葛重

江戸琳派の酒井抱一は20代、浮世絵美人画を描いていました! 葛屋重三郎出版の狂歌本にも度々登場する青年抱一(狂名「尻焼猿人」しりやけのさるんど)。その肖像や《松風村雨図》(細見美術館蔵)を手がかりに、天明期の葛重と抱一の間を探ります。抱一の狂歌とともに読み、狂歌サークルの雰囲気も味わいましょう!

2025年 6月28日(土) 1席目 13:00~  
2席目 15:30~  
\*各席約90分

琳派の前は  
浮世絵師?



葛重プロデュースの戯作者

第二弾

## 山東京伝 序跋 《江戸風俗図巻》を読む

葛重に多く起用された山東京伝。彼が序と跋(緒言・後書き)を記した《江戸風俗図巻》(細見美術館蔵)を紐解きます。江戸の様々な職業の男女計26名の姿を巻物に連ねたいわば江戸のファッション図鑑で、歌川豊国の作とみられます。風俗の描写の鑑賞とともに、京伝の序文・跋文を読み、寛政期の江戸のリアルに触れてみては。

2025年 10月11日(土) 1席目 13:00~  
2席目 15:30~  
\*各席約90分



茶屋女



有徳なる町人の息子

ちよつとした  
演習気分も  
味わえます

山東京伝/序跋  
《江戸風俗図巻》部分  
江戸後期  
細見美術館蔵

吉原の花魁



開催中の展覧会が無料でご覧いただけます!(当日のみ)

講座の後は、季節のお菓子とお抹茶でくつろぎのひとときを。

会場 茶室 古香庵(当館3階) 定員 各席15名(最少催行人数10名)

参加費 各回5,000円(当日受付にてお支払いください。)

友の会「古今」会員 フレンドシップメンバー:4,000円

サポートメンバー:3,200円/フェローシップメンバー:無料

※開催内容を変更する場合があります。最新情報はWEBサイトにてご確認ください。

申込方法 フォームに必要事項を入力の上、送信してください  
※申込先着順。定員になり次第、受付を終了いたします。

■お申込みは、お一人ずつお願いいたします。■お申込み後、5日程度でメールにて申込完了のお知らせをお送りいたします。届かない場合は、お電話にてお問い合わせください。■[hosomi.event@gmail.com]からのメールを受信できるように設定をお願い致します。

お申込み  
フォーム



# 細見美術館

京都市左京区岡崎最勝寺町6-3  
TEL 075-752-5555 FAX 075-752-5955  
http://www.emuseum.or.jp